



佐山絵美（ピアノ）

伊賀市出身。

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専修を経て、同大学大学院音楽研究科器楽専攻修了。その後渡欧し、ドイツ国立ブレーメン芸術大学を最優秀で卒業。

武蔵野音楽大学創立70周年記念合唱団、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、ドイツ国立ブレーメン芸術大学管弦楽団と共演の他、伊賀市文化都市協会主催“新世紀コンサート”ピアノデュオリサイタル、滋賀大学大学院教育研究フォーラム、ならどっとFMラジオ等、日本、ドイツ、オーストリアにて様々な演奏会に出演。これまでにピアノを井ノ倉純子、大廣朋子、兼重直文、田村明子、J. ガネヴァ、K. ヴュイレン、P. オヴェルンの各氏、伴奏法をJ. ホラーク氏、ピアノデュオをK. ガネフ氏、室内楽をA. ペイリー、K. シュルツ、M. トーマス、O. ツショッペ、C. シュタインバッハの各氏に師事。

現在、大学・高校で指導を行う傍ら、各地にて演奏活動を行っている。

佐山舞香（ピアノ）

伊賀市出身。

同志社女子大学学芸学部音楽学科ピアノ演奏専攻を経て、滋賀大学大学院教育学研究科器楽専修修了。その後、滋賀大学大学院研究科研究生修了。大学在学中、E. L. ヒバード記念奨学生に選ばれる。

第5回万里の長城杯国際音楽コンクール第一位受賞をはじめ、さまざまなコンクールに入賞。新人演奏会 in いが、京都芸術祭デビューコンサート、中国音楽理事会主催演奏会、伊賀市文化都市協会主催“新世紀コンサート”ピアノデュオリサイタル、滋賀大学大学院教育研究フォーラム、大阪FMラジオ、ならどっとFMラジオ等に出演する他、関西、ドイツにて多数の演奏会に出演。

これまでにピアノを井ノ倉純子、大廣朋子、馬場和世、犬伏純子の各氏に、作曲法・演奏法を若林千春氏に師事。

現在、大学・高校にて指導を行う傍ら、演奏活動を行っている。



船越さくら（ヴァイオリン）

四日市市出身。

3歳よりヴァイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部器楽科弦楽専攻ヴァイオリン専修卒業。

「グリーン・ユース・オーケストラ'98」にて委嘱世界初演曲のコンサートミストレスを務める他、第5回みえ新進音楽家演奏会等、多数出演。2004年よりヴァイオリン・サクソフォン・ピアノにて編成される「アンサンブル ブランシュ」メンバーとして活動。各楽器の魅力を生かした演奏スタイルで様々なジャンルの楽曲を演奏し好評を得ている。

またソロでは、2010年より自身の誕生日にちなんだ「バースデー リサイタル」シリーズを開始。毎年様々な演目に取り組んでいる。

これまでに、若林正伸、故 森幸平、瀬戸瑤子、岸邊百百雄の各氏に師事。また室内楽を、鷲山かおり、河野文昭の各氏に師事。

